

## 令和5年度当初予算の概要

令和5年度は、第7次上山市振興計画の最終年度であり、将来都市像として掲げる「また来たくなるまち ずっと居たいまち ～クアオルト かみのやま～」の実現に向け、子育て支援策や若者の定住促進、雇用創出を軸とした人口減少対策などを着実に進めるべき年であります。

また、社会環境の変化に対応するため、デジタル化の推進を図るとともに、ゼロカーボンシティを実現するため、エネルギーの地産地消、脱炭素先行モデル事業の調査検討なども進めてまいります。

さらに、過疎地域からの早期脱却を図るため、過疎地域持続的発展計画に位置付けられた都市基盤の整備などに積極的に取り組むと同時に、市債残高の縮減等、財政状況のさらなる改善に向けた取組を進めることで、将来にわたる市勢の発展と健全な財政運営の両立を目指すものであります。

これらのことを踏まえて予算編成を行った結果、令和5年度の一般会計当初予算額を167億6千万円といたしました。令和4年度当初予算額に対して10.0パーセントの増となっております。

それでは、新規事業及び重要事業を中心に説明申し上げます。

始めに議会費の議会運営費では、より一層の事務効率化を推進するため、タブレットの導入に要する経費を新たに計上いたしました。

次に総務費であります。企画調整管理費では、市政運営の新たな羅針盤となる第8次上山市振興計画の策定経費を計上いたしました。

ふるさと納税推進事業費では、本市の魅力ある返礼品等をPRし広く寄附を募るとともに、シティプロモーション推進事業費では、本市が誇る地域資源を戦略的に情報発信するためのプロモーション経費を計上いたしました。

次に民生費であります。母子等福祉費では、新たに子どものショートステイ事業を開始するなど、子育て環境の一層の充実を図るとともに、子ども家庭総合支援拠点事業費では、児童虐待・子どもの貧困・ヤングケアラーへの対策を進めるため、関係経費を計上いたしました。

保育所等管理運営費では、子育てに対するさらなる経済的な支援を行うため、第2子以降の保育料を無償化いたします。

次に衛生費であります。母子保健推進費では、現在の子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを「上山市こども家庭センター」に改め、相談体制を強化することで、子育て家族への母子保健体制の充実を図るものであります。また、妊娠出産、子育て時の市外通院への支援に要する経費を新たに計上いたしました。

二酸化炭素排出抑制対策事業費では、カーボンニュートラルの実現に向け、公共施設等の再生可能エネルギー設備導入可能性調査等の経費を計上いたしました。

健康づくり推進事業費では、「かみのやま健康ポイント事業」のスマートフォンアプリでの参加を本格的に実施し、働く世代をはじめ、より多くの市民が楽しみながら健康づくりに取り組める環境を提供するものであります。

次に労働費であります。産業人材確保・育成事業費では、市民を採用した市内企業に対する補助を継続するほか、産休・育休の取得推進に取り組む企業に対する助成を通

して、働きやすい職場環境の整備を促すものであります。

次に農林水産業費であります。有害鳥獣対策事業費では、有害鳥獣による農作物被害の減少を図るため、有害鳥獣捕獲奨励金制度や地域ぐるみの取組に対する支援を継続いたします。

かみのやまワインによる地域振興事業費では、本市ならではの資源であるワインを活用した地域振興を図り、ワインの郷づくりを一層推進するため、かみのやまワインの消費拡大を図るとともに、ワイナリーの創業を支援いたします。

次に商工費であります。商業活性化推進事業費では、新商品の開発等、個店の魅力向上に向けた取組を支援いたします。また、中心市街地の賑わいを創出するため、市内事業者等が連携して行う商業祭等を支援する補助金を拡充するほか、新たに創業を検討している事業者に対し、旧映画館跡地において試験的に営業の機会を提供するチャレンジショップ事業費を計上いたしました。

工業振興事業費では、コロナ禍における設備投資をさらに促すため、中小企業設備投資促進補助金を拡充してまいります。

観光物産関係団体助成費では、本市の特色あるまつり行事やスマイルプロジェクトに対する支援の充実を図り、観光誘客と観光地域づくりを進めるものであります。

上山型温泉クアオルト事業費では、新たにクアオルトビジョンを策定し、認知度の質の向上と「心と体がうるおうまち」づくりの推進を図るものであります。

次に土木費であります。市単独道路整備事業費では、過疎対策事業債を活用し、市民生活の利便性を高めるための市道の側溝改良や舗装補修を行うなど、安全・安心なインフラの維持保全を図る予算を大きく増額計上いたしました。

都市計画事業費では、令和4年度に策定した「かみのやま温泉駅東エリア整備基本構想」などに基づき、駅東・駅西エリアの整備に向けた取組を進めるほか、駅西エリアにおいては、まちの魅力を向上させるため、景観づくりに取り組む個人・団体に対する支援を継続いたします。

定住促進事業費では、子育て世帯等の定住や若者の転入を促進するため、住宅を取得する方に対する支援、民間事業者に対する若者向け共同住宅の建設支援を継続いたします。

次に消防費であります。消防団運営費では、消防団員の報酬を改定するとともに、市単独消防施設整備事業費では、迅速かつ的確な災害対応を行うため、高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の更新経費などを計上いたしました。

次に教育費であります。教育環境の一層の整備を図るため、中学校整備事業費では北中学校の衛生設備及び南中学校の校舎照明の改修などに取り組むものであります。

給食センター管理費では、学校給食の食材費高騰による新たな給食費の負担が生じないよう、必要な経費を増額計上いたしました。

地域学校協働活動推進事業費では、上山小学校・中川小学校・宮川小学校で新たにコミュニティスクールに取り組むことと連携し、地域と一体となって子どもを育てる環境の整備を推進するものであります。

スポーツ振興事業費では、令和6年2月に蔵王坊平を会場として行われる国民スポー

ツ大会冬季大会スキー競技会の開催経費を計上するとともに、蔵王坊平アスリートヴィレッジ振興費では、準高地トレーニングの効果検証の成果を活用し、合宿の誘致に向けた取組をさらに推進するものであります。

次に主な特別会計について申し上げます。

国民健康保険特別会計は、34億2,200万円を計上いたしました。特定健康診査の未受診者対策や健康づくり推進事業として実施する運動教室などを継続し、疾病予防と医療費適正化に努めるものであります。

介護保険特別会計は、42億2,200万円を計上いたしました。第8期介護保険事業計画に基づき、介護予防や重度化防止のための事業を充実いたします。

水道事業会計は、収益的支出は7億4,900万円、資本的支出は3億8,100万円をそれぞれ計上いたしました。基幹管路の耐震化や配水管の更新等を計画的に実施いたします。

下水道事業会計は、収益的支出は10億1,600万円、資本的支出は7億9,000万円をそれぞれ計上いたしました。久保手、皆沢地区における汚水管路の整備や浄水センターの設備更新を実施いたします。

以上が、令和5年度当初予算の概要であります。